

よしみ

議会だより

平成27年
12月定例議会

- 主な議案の内容 P2～
- 視察研修報告 P7～
- 一般質問に7名登壇 P9～

この議会だよりは再生紙を使用しています。

松山城跡の初日の出

太陽光発電設置(保健センター) 国補助金を活用

12月定例会は、12月1日から3日まで3日間の会期で行われました。
平成28年1月1日から利用開始される番号法(マイナンバー法)に関する条例や県からの権限移譲に伴う条例の改正・新設、平成27年度一般会計および特別会計補正予算など10議案が上程され、可決されました。

蓄電池

主/な/議/案/の/内/容

※質疑等があった議案を掲載しています。

■議案第77号 平成27年度吉見町一般会計補正予算(第4号)

内容 既定の歳入歳出予算額にそれぞれ8080万7千円を追加し、予算総額を65億3585万7千円とする。

一主な歳入一		一主な歳出一	
(万円単位に四捨五入)		(万円単位に四捨五入)	
○国庫支出金	2403万円	○照明灯LED化	110万円
○県支出金	3055万円	○徴収嘱託員報酬	194万円
○財産収入(旧前河内保育園売払)	2390万円	○マイナンバー関連機器導入・保守委託料	125万円
○線下補償料(東京電力より3年ごと)	233万円	○障害者自立支援給付費など	4694万円
		○教育・保育施設運営など委託料	455万円
		○住宅リフォーム補助金	50万円
		○機構集積協力金	2263万円
		○雇用奨励金	280万円
		○道路維持修繕料	350万円
		○生徒選手派遣費	52万円
		○学校管理修繕料	52万円
		○文化財保護補助金(安楽寺防災設備工事)	10万円



いちごクラブ

主な質疑

問

北小給食用リフトの修繕内容と経年は。また、新規設置は考えたか。

答

電気まわり一式の交換。45年ほど経過している。法定点検、適正な修繕を行っており新規設置は考えなかった。

問

放課後児童健全育成事業委託料の補正の内容は。

答

①基準額の増額(開設日・長時間・障がい児指導員がそれぞれ加算)②新たな補助メニュー(のびっ子クラブのタクシー送迎支援事業・指導員処遇改善加算)である。

提出者

主な質疑

問

学童保育指導員の処遇改善費の内容は。

答

月額で正規指導員は、いちごクラブが2万4千円増。のびっ子クラブが1万4千円増(勤務状況が違うため)。パートは最低賃金を下回らないように時給820円である。

問

のびっ子クラブの送迎で利用している年間タクシー代に要している費用は。

答

平成26年度の実績で119万4280円。今回の支援事業では年間で43万5千円を補助し、実績に対して36%の補助となる。

問

戸籍住民基本台帳費、通信運搬費7万8千円の内訳は。

答

役場に返還が予想されるマイナンバー通知カード約1500通分のお知らせ文書の郵送料。

問

農業振興費、機構集積協力金とは。

答

担い手の農地集積を促進する農地中間管理機構に協力した地域と個人に支払われるもの。

反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

来年から実施されるマイナンバーに関わる関連機器委託料が一般財源で組まれている。日本共産党はマイナンバー制度の中止を求めている立場であり、制度実施を前提にした補正予算は認められない。

小林 周三議員

賛成討論

大半が実績をかんがみでの予算である。マイナンバー制度の安全対策についても*LGWANでの対応をしていく。個人認証を的確に行うための機器の導入は、税の公平性、事務執行の効率化のために必要なものである。

*LGWAN(エルジーワン)

地方公共団体を相互に接続する行政専用のネットワーク。地方公共団体が発信する電子文書等の秘密を保持し、認証を行い、改ざんや否認を防止する。

反対討論

戸谷 照喜議員

マイナンバー制度は、町民や中小業者にとって百害あって一利なしと思う。プライバシーの漏えいという観点からも反対する。

■議案第72号 吉見町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例

内容 町の内部で番号法(マイナンバー法)の目的に沿った事務を行うため新設。

主な質疑

問 町独自に個人番号の利用は行うのか。

答 法律の規定の範囲で、独自利用の規定は定めていない。

問 今後、法律によらない独自利用の予定はあるか。

答 現時点では決まっていないが、町民の利便性の向上のため、協議検討が行われることは考えられる。

議員 提出者

反対討論 日本共産党 杉田しのぶ議員

条例制定により、今後町が独自に利用範囲の拡大もできるようになるが、情報漏えいに対する対策も曖昧なまま、拡大してよいのかが問われる。

議員

個人番号の記入が必要になる手続きの例

- | | | | |
|-------------|---------------------|-------------|-----------------------|
| 社会保障 | ・ 児童手当の新規認定請求 | 社会保障 | ・ 生活保護の申請 |
| | ・ 児童扶養手当の新規認定請求 | | ・ 国民健康保険の加入・脱退 |
| | ・ 特別児童扶養手当の申請 | | ・ 後期高齢者医療の被保険者証の再交付申請 |
| | ・ 子ども・子育て支援新制度の認定申請 | | ・ 固定資産税の減免申請 |
| | ・ 介護認定、更新、区分変更の申請 | | ・ 軽自動車税の減免申請 |

■議案第74号 吉見町都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例

内容 県からの権限委譲による、都市計画法に基づく開発許可等の基準を新設。

主な質疑

問 開発行為の事前協議(相談)を行う場所は。

答 窓口が基本だが、予約があれば会議室で行う。

問 町における開発行為とは。

答 市街化調整区域での形質の変更、盛土、造成など変更を加えて建築物を建てること。

議員 提出者

■議案第75号 吉見町税条例の一部を改正する条例

内容 地方税法一部改正および番号法施行による、納税の猶予制度改正、減免申請書等記載事項にマイナンバーを追加、町たばこ税の特例税率廃止など。

マイナンバー関係

法人の事務所等の設置に関する申告書や個人町民税・固定資産税などの減免申請書等の記載事項に個人番号(マイナンバー)を追加する。

納税の猶予制度の改正

滞納者の申し出による換価の猶予(差し押さえた物品公売の猶予)制度を新設。
担保を不要とする滞納額を50万円以下→100万円以下に引き上げる。

町たばこ税の特例税率廃止

旧3級品のたばこ税率を一般品の紙巻たばこの税率と同じになるように段階を設けて引き上げる。



主な質疑

問 担保の徴収基準が50万から100万に変更になる理由は。

答 物価指数が上がったため。

問 担保をとる基準が滞納額50万円以下から100万円以下になるが、どんなものを担保としてとるのか。

答 具体的には土地、建物、国債などである。

問 これまで50万円以下の滞納者から、担保をとった件数は。

答 納税の猶予制度は、これまで適用した例はない。

問 換価の猶予を受けた場合、猶予を受けた以外のメリットは。

答 延滞金の税率が大幅に軽減される。

議員 提出者

反対討論 日本共産党 杉田しのぶ議員

町民税や固定資産税、軽自動車税等の減免申請にマイナンバーの記載が義務づけられれば、減免申請をためらう人も出ることが懸念をされ、今後必須になることも考えられるため認められない。

議員

町長提出議案

議案番号	件名	結果	岩田	戸谷	秋山	伊与田	尾崎	神田	荻野	岩崎	宮崎	杉田	小林	内野	小宮	安孫子
議案第72号	吉見町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例	可決	×	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	—
議案第73号	吉見町基本構想を議会の議決事件と定める条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第74号	吉見町都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第75号	吉見町税条例の一部を改正する条例	可決	×	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	—
議案第76号	吉見町事務手数料条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第77号	平成27年度吉見町一般会計補正予算(第4号)	可決	×	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	—
議案第78号	平成27年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第79号	平成27年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第80号	平成27年度吉見町公設浄化槽事業特別会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第81号	平成27年度吉見町水道事業会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—

「—」は議長のため、採決に加わっていません。

1月下旬から議場音響システム改修工事が行われています。
(マイク・カメラ・スピーカー機器・録音機器など更新)
3月議会開催時には工事終了予定です。

町議会を傍聴してみませんか

次の議会は**3月定例議会**
3月1日(火)から開催される予定です。

詳しいことは町議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0493-63-5024 (ダイヤルイン)



傍聴席

期 日 平成27年11月12日(木)
視察場所 長野県上高井郡小布施町
目 的 町立図書館「まちとしょテラソ」の管理運営について

図書館は交流と創造を楽しむ文化の拠点

従来の学びの場や文化継承の場としての図書館を発展させ、先進的な自主活動に取り組み町内外から年間14万人を超える多くの方に利用されている小布施町立図書館の運営について研修しました。

図書館運営の理念のもと、「4つの場」を柱に据え、事業を進めています。「本と人をつなぐ場」では、新たな作品や作家との出会いを演出するため、毎月テーマを決めスタッフ手作りの説明文やイラストを添えたテラソ100選、本の福袋、あの頃・あの時コーナーなどを設置し、読書の普及・推進を図っています。

「本を介して人と人をつなぐ場」では、まちじゅう図書館事業に取り組み、町内の個人宅やお店の少しのスペースを活用し一軒一軒が図書館、一人一人が館長となり訪れた人と本を通じて交流を楽しむ事業です。

「創作活動・表現活動を応援する場」では、自ら創作者・表現者になってもらいたいとの思いから、花の童話大賞の公募や童話の書き方教室も開催しています。

「子育ての場」では、子供と保護者が向き合い、心ふれあう場所づくりのためのお話会やテラソで部活など、小・中学生と保護者を対象に開催しています。

吉見町においても図書館の管理運営を進めるうえで、情報発信拠点として魅力ある図書や資料の収集を図りつつ、特色あるイベント・各種事業を実施するなど、多くの方に利用いただける図書館サービスに取り組んでいく必要があると感じました。



まちとしょテラソ

期 日 平成27年11月13日(金)
視察場所 長野県須坂市
目 的 地域医療福祉ネットワークの取り組みについて

ネットワーク推進室で情報集積・情報発信

須高地域(須坂市、小布施町、高山村)では在宅療養者や家族が24時間安心して生活が送れるよう地域医療・介護連携体制の構築に取り組み、平成22年4月に地域医療福祉ネットワークを設立、その先進的な事業の取り組みについて研修しました。

地域内で受けられる全ての資源を網羅した「須高地域で安心して医療・介護・福祉が受けられるために」という冊子を作成し配布。また、切れ目のない在宅医療と介護サービス提供体制の構築及び推進では、平成24年度から国のモデル事業に参加、24時間サポート体制の構築に取り組み。医師会及び地域内の3病院・訪問看護ステーションと行政が連携し、須高在宅ネットワーク体制を構築。

さらに、在宅療養者の急変時の対応を可能にするために、訪問診療や訪問看護の経過等の情報を記録、共有できるシステム「在宅医療安心ネット」を導入し運用しています。主治医が不在であっても後方支援の病院において

患者の急変に対応できるものとなっています。

在宅医療・介護連携推進事業は、本年度から介護保険制度の地域支援事業での取り組みが位置づけられています。須高地域では、平成29年度までに実施が求められている8事業は、既に体制が整っています。

吉見町においても関係市町村・関係団体と連携・協議を進め速やかに、地域包括ケアシステムの構築と、さらなる介護予防事業への取り組みを積極的に進めていく必要があると感じました。



期 日 平成27年11月16日(月)
 視察場所 新潟県見附市 道の駅パティオにいがた
 目 的 道の駅の管理運営について

道の駅を拠点に地域の活性化

道の駅パティオにいがたは平成25年8月23日に開駅し、全体面積4.6haで、主な施設は交流休憩施設・農産物等販売施設・農家レストラン・トイレ・防災展示施設です。

トイレは全体の13%を占めており、道の駅の施設利用の観点からトイレを中心に施設計画がされています。このほか、駐車場(182台)・5か所の広場・防災活動資材庫・災害用備蓄倉庫・ディキャンプ場等もあり、指定管理者や市、地域団体主催による様々なイベントが、平成26年度は51回開催され、105万962人の来場がありました。

管理運営は、指定管理者制度となっており「(株)豊栄わくわく広場」に農産物直売所・レストラン運営・道の駅建物・第一駐車場の維持管理を委託しています。このほかの施設の維持管理は、NPO法人ぎずなの森に市が業務委託をしています。

地元野菜を中心に使用したレストランは、バイキング形式で月平均4,300人の利用があります。

トイレの維持管理は清掃業者に委託しています。レンタサイクルは昨年度延べ158台。ディキャンプ場は4,376人の利用があったとのこと。国土交通省により、重点「道の駅」候補に指定をされた「道の駅いちごの里よしみ」の今後に向けた有意義な研修でした。



期 日 平成27年11月17日(火)
 視察場所 新潟県糸魚川市
 目 的 収納率の向上の取り組みについて

市税収納の3つの取り組み

糸魚川市の平成26年度決算における市税収納率は現年課税分が99.4%、滞納繰越分が26.8%、合計では98.3%で新潟県内20市の中で収納率第1位となっています。

糸魚川市の収納率向上の取り組みには大きく分けて3つあります。

1つ目は「集合納税方式」です。これは市民税・固定資産税・国民健康保険税等を合算して6月から翌年3月までの各月、全10期に分けて納付する方式です。この納税方式にすることにより、毎月の税額が均等になり、納税者は家計の立て方が簡単になるなど納税しやすい環境を作り出しています。

2つ目は「見える化による収納率の向上」です。徴税対策として、収納率等の中長期的な目標を設定し、滞納整理の進捗状況やスケジュール等と合わせ、全職員が見られるよう室内に大きく掲示することにより、共通の理解が進み、協力がスムーズに行われています。

3つ目は「滞納防止対策」です。時期を決めての一斉催告ではなく、すべての滞納者に対して、その状況に応じた個別の催告を行っています。このほかゲートキーパー研修等の各種研修を行い、単に滞納者に納税を促すだけでなく、その人生に向き合い、状況を見極めて適切な対応を行っています。

納税しやすい環境を整え、収納率のさらなる向上を図る等、糸魚川市の具体的事例を視察し、大変参考になりました。



町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

一般質問とは?

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。(持ち時間1人60分)
 議会だよりでは本人の原稿をもとに、その内容を約700字以内で要約し、お知らせしています。



**東松山鴻巣線の
工事の進捗状況は**

» 日本共産党 岩田 晃一 議員

問 4車線化するとの話だが、現在工事が止まっているように見える。県の工事だが、わかる範囲での進捗状況は。

答 本年10月30日に関係する自治体と期成同盟会を設立し、県に要望活動を進めようとしている。

問 早期の4車線化が出来ないなら、歩行者の安全の確保、渋滞の緩和のために役場前の交差点に右折帯を設ける、バスの停留所を広げ停車帯を設ける、広い安全な歩道を設ける、久米田の交差点に右折信号を設ける、道の駅の交差点に歩行者用信号を設けるなど優先的にやってもらえるように県に依頼はできないか。

答 4車線化を進める工事の中で施工箇所については、県と調整を図っていきたい。

問 次に吉見百穴のさらなる活性化のために2つ提

案したい。1つ目は埋蔵文化財センターに隣接した公園あるいは駐車場に農産物直売所を設けたらどうか。

答 農政環境課に協力いただき青空市を開催している。今後イベント回数を増やすなど、農政サイドと協議していく。

問 2つ目は土手の除草のために百穴でヒツジやヤギを飼育し、毛刈りや乳しぼりなどのイベントもできないか。

答 土手の管理は埼玉県東松山県土整備事務所が行っているため吉見町ではできないが、動物や自然と触れ合う環境は魅力づくりの1つなので、今後自然体験や移動動物園など関係団体等と協力連携によるイベントや、活性化につながる調査検討をしていく。



吉見百穴

要人堀久保田堰周辺の改修は

» 荻野 勇 議員



問 ※堰下流の護岸壁の現地を確認し、調査をした結果と今後の対応は。

答 現在の状況は緊急を要する状況ではありませんでしたので、今後さらに詳しい調査をし、関係課及び関係機関と協議検討します。

問 堰は土地改良区や水利組合等の受益者により管理されている。低気圧による長雨や台風の接近等のように予想できる時は事前に準備できる。しかし急な大雨は予想が難しい。急な増水時、堰板を上げるには命がけの作業となる。自動化等の改善はできないか。

答 ※角落としの堰は、昔ながらの方法で管理されています。あのような堰は町内では数少なくなっています。高齢化も進んでおり、大変な作業だと考えていますので、関係機関と協議し検討します。

問 小学校・中学校における漢字能力検定への取り

組み状況は。

答 基礎学力を習得するには、日本語の語彙ごいを支える漢字を学ぶことがその第一歩と考え、今年度から小学2年生以上全ての児童生徒の日本漢字能力検定受験を始めました。適正級診断テストを数回実施し、保護者と共に適正級を判断し、各自それぞれが希望する級を受験しました。

問 過日の熊谷市、川島町での事件は、保護者にとって子供達の登下校時の安全を考えると、不安だと思う。また、防犯パトロール隊や保護者との連絡、各小学校対応がまちまちとなっている。必要な情報をメール配信できないか。

答 校長会等に提案し、実施方法を検討します。

※堰(セキ)

河川などの開水路を横断して設けられ、流水をせき止めて、その上を越流させる工作物の総称。

※角落とし(カクオトシ)

両側の柱に縦溝を刻み、角材を積み重ねてはめ込み、堰としたもの。



要人堀久保田堰

積雪対策と対応は

» 神田 隆 議員



問 町道の除雪は、道路交通確保に欠かせない重要な役割を担っていますが、除雪作業の出動基準は。

答 町として定めている基準はありませんが、東松山県土整備事務所の基準である積雪10cm以上を目安として除雪を実施しています。

問 積雪が農業ハウス等の耐雪荷重を上回るおそれが予想される大雪等の情報提供は。

答 積雪が予想される場合には関係課と連携し、町行政防災無線等を活用し情報の伝達、注意の呼びかけを速やかに行えるよう努めていきます。

問 平成26年2月の大雪での商工業各社の積雪被害状況及び被害総額の把握は。また、積雪被害へのお見舞金や再建、修繕等の補助金の考えは。

答 吉見町商工会が中心となって連絡調整、状況把握に努めています。また、吉見町商工会の会員以外の

被害状況については、把握できていません。積雪被害者に対するお見舞金や再建、修繕の補助金の考えについては、自然災害は、町内の多くの事業所で被害が発生し、経営にも大きな影響を及ぼすことが想定されます。被害が発生した場合は、その被害状況を把握し、国や県、近隣自治体の対応状況を考慮して、可能な範囲で対応を検討していきます。

問 よしみけやき保育所の積雪荷重に対する基礎等は、十分耐えられるのか。

答 基礎の耐力ですが、専門的なことであり設計業者に確認したところ、基礎は十分に耐えられるものです。



積雪被害にあったカーポート

災害廃棄物処理計画の早期策定を

» 公明党 秋山 真美 議員



問 大規模な災害に備え、事前に仮置き場や処理方法を定める「災害廃棄物処理計画」の策定を国は自治体に求めているが、町の見解は。

答 災害が発生してからの事後的な取り組みでは混乱を招き、復旧・復興の大きな妨げになる。不測の事態に備え、体制を整えておくことは重要。

問 9月に発足した災害廃棄物処理支援ネットワークを活用するなど早期計画の策定を。

答 いざという時に対応が出来るよう情報収集し、できることから準備していく。

問 障害者差別解消法が平成28年4月に施行されるが、施行にむけた町の取り組みは。

答 職員が事務または事業を行う上で必要となる要綱の整備等、検討し進めていく。また、対外的な取り組みとして、広報やホームページでの情報提供、ポスター

公共工事を地元業者に発注して町の活性化を

» 小林 周三 議員



問 地方創生における公共工事の発注について。

答 公共工事の業者選定にあたっては、地域産業の振興が地域創生の実現につながると認識している。

問 「吉見町建設工事請負等競争入札参加者の資格等に関する要綱」の発注標準額の改正や「吉見町建設工事請負競争入札参加資格者格付要領」における資格審査基準点の見直しで、地元業者のさらなる優先を。

答 参加者資格審査点数の基準は町で変更することが可能である。地元業者を優先して地元で仕事をしてもらえるようにしていきたい。

問 交通弱者への対策について。

答 支えあいサービスには、買い物や通院などのサポーターが同行する外出支援があり、多くの方の利用をいただいている。

問 買い物難民対策について。

の掲示など積極的に啓発活動を行う。

問 意思表示やコミュニケーションを支援するための研修などソフト面も重要事項とされている。様々な場面で町民と接する機会がある職員に、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守ることを学ぶことができる「ゲートキーパー研修」を取り入れられないか。

答 職員研修の一つとして、調査研究する。

問 公園やふれあい広場等の公衆トイレで、設備や備品の不具合や清掃が行き届いていない所があるが、今後の対応は。

答 利用者の立場に立った、清潔できれいなトイレの維持管理に努める。

その他の質問
・「がん検診・特定健診のススメ」のシステムを導入し、受診のきっかけづくりを。



八丁湖の公衆トイレ

答 過疎化の進行により、商店の撤退廃業や高齢での行動範囲が狭くなり、買い物に不便を感じている方は全国で700万人いる。本町でも巡回バス事業や支えあいサービス事業でこれらの方々の支援をしているが、さらなる取り組みが必要と考える。

問 ふるさと納税の寄付額と住民税控除額の差額は。

答 平成26年分は控除額85万1千円、寄付受付額が1万円で、差引持ち出しであるが、翌年の地方交付税でその75%が補てんされる。

問 ふるさと納税を集める段階から吉見町では納税された金額をこの事業に使いたいと用途を限定して集められないか。また、ふるさと納税の使い道は。

答 現在は寄付をしていただいた方の意向を聞いて、教育や社会福祉事業などの財源に使っている。



町内巡回バス

不法投棄防止対策に向けた提案



▶▶ 日本共産党 杉田しのぶ 議員

問 近年増加傾向にあるごみの不法投棄に対して「させない」ための更なる取り組みの強化を行うために、私が調査した事例の提案をする。

1点目は町内の事業所と協定を結び、監視パトロールの更なる強化と不法投棄の現場を発見した場合に、速やかに連絡をしてもらうという協力体制の確立であるが町の考えは。

答 協定の効果や内容等の事例を調査し、事業所等の意向も聞きながら、取り組みが可能か検討したい。

問 2点目は周知を行う。1年間の不法投棄の状況を写真やグラフ・表でまとめ、不法投棄マップも作り、全戸へ配布する。マップで記した場所をパトロールの重点箇所として位置づけることにより住民の意識づけにもつながると思うが町の考えは。

答 住宅地図等を使い、早急に作成していきたい。

問 3点目は注意喚起の看板を夜間でも見えるように、蛍光の看板やセンサーライト付の看板を設置すること。実際に設置している自治体では大きな効果をあげており、有効であると思うが町の考えは。

答 蛍光タイプや反射板付の看板の作成費用は1割増程度なので、次回作成時に検討したい。センサーライト付のものは費用対効果も含めて検討したい。

問 4点目は不法投棄防止条例の制定。罰則規定や不法投棄防止設備設置への補助等、不法投棄防止に特化した条例を制定することであるが町の考えは。

答 条例まで定めるのはある意味、町の恥でもあると思うので、少し研究させていただきたい。

その他の質問
・国の財政支援を活用して国保税の引き下げを
・ごみ屋敷問題を解決するための提案



不法投棄されたごみ

どがある。しかし各々にメリット、デメリットがある。いずれにしても実施する場合は舗装劣化箇所の修繕と合わせて行なうことが効果的と考える。

問 凍結防止剤の使用について最近、区長アンケートを取っている。どんなことが判明したか。

答 凍結防止剤を配布した行政区ではどのように活用しているか、またその効果などについて把握できた。今後はさらに活用例などを皆さんに周知していきたい。

問 いつ、誰が、どのようにして散布するか、行政区や区長によって異なるのではないかと。きめ細かな町としての対応(説明会や散布パンフレット)が必要だと思うが。

答 町としては広報活動で注意喚起を行うなどして、さらに効果的な対策に努めていきたい。



南吉見団地内の坂道

デマンド交通導入はいつになるのか



▶▶ 戸谷 照喜 議員

問 デマンド交通について、調査研究はどこまで進んでいるのか。

答 10月から県内6団体とともに関東運輸局主催の勉強会に参加している。

問 町民の交通問題への不満は深刻だ。どのようにして解決していくのか方向性を出すべきだ。一般の会社ならば仕事には完了予定期日がある。交通問題に対しては町には期限はないのか。今後の日程は。

答 関東運輸局主催の「がんばる地域応援プロジェクト」への勉強会等を通して、より多くの情報を収集し、方針決定の材料にしていきたい。

問 9月議会では、冬期危険性を増す道路は改修すべく対応したいとの答弁だった。最も効果的な工事工法は研究できたのか。

答 すべらない工法には、例えばグルーピング工法な

埼玉中部環境保全組合議会定例会

▶▶ 荻野 勇 議員

日 時 平成27年10月20日 午前9時から
場 所 埼玉中部環境センター議場
出席議員 尾崎豊 荻野勇 杉田しのぶ 小林周三

最初に管理者から事務の執行状況について報告がありました。平成27年4月から9月までの管内搬入ごみ量は、可燃ごみ1万8247.82t、粗大ごみ586.94tであり、昨年同期と比較して可燃ごみ303.44tの減、粗大ごみ47.27tの減、合計では350.71t、1.83%の減であります。灰の処理は、合計2,169.18tをセメント原料として処理委託をしています。

今年度の排ガスのダイオキシン類調査結果は、基準値5ナノグラムを大きく下まわる良好な結果とのことであります。

去る7月30日に国土交通省大宮国道事務所主催の上尾道路設計・用地説明会が鴻巣市で開催され、上尾道路の計画区域が都市計画決定どおり57mの幅員で建設されることが決定され、第2期大間処分場は3割程度が用地に含まれることとなります。

付議された議案

- 議案第8号 埼玉中部環境保全組合個人情報保護条例の一部を改正する条例
 - 議案第9号 平成26年度埼玉中部環境保全組合一般会計決算認定について
 - 議案第10号 平成27年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算(第1号)
- いずれも原案のとおり可決、認定されました。

北本地区衛生組合議会定例会

▶▶ 宮崎雄一 議員

日 時 平成27年11月2日 午前9時から
場 所 北本地区衛生組合議場
出席議員 秋山真美 神田隆 宮崎雄一

平成27年1月から9月までの搬入量は、構成市町すべて増量となり、吉見町は、4,275.5kℓ、前年同期比較では252.41kℓ、6.27%の増です。

組合が導入しているパチルス菌の効果について報告があり、水質浄化能力の安定化、汚泥の減量化、臭気分解による臭気の低減により脱臭のための薬品使用量が削減されており、費用対効果も高いとのことでした。

定期的に行なわれている敷地境界の大気や汚泥の放射性物質測定結果は、これまでと変わらず基準値以下とのことでした。

付議された議案

- 議案第12号 北本地区衛生組合個人情報保護条例の一部改正について
 - 議案第13号 北本地区衛生組合職員の再任用に関する条例の一部改正について
 - 議案第14号 平成27年度北本地区衛生組合歳入歳出補正予算(第1号)
- 歳入歳出に2882万2千円を追加し、予算総額を4億814万1千円とする。
- いずれも原案のとおり可決されました。

埼玉県町村議会議員研修会

平成27年10月20日(火)、フレサよしみで開催され、吉見町議会からも全議員が参加しました。

東京農業大学教授の小泉武夫氏を講師に迎え、「いのちを育む食と農」をテーマに、健康と日本の農業問題について講演が行われました。



全国町村議会広報研修会

平成27年10月21日(水)、東京都千代田区永田町砂防会館で開催され、議会だより編集特別委員会のメンバー4名が参加しました。

芳野政明氏による優良議会広報のクリニックが行われました。



表紙の題字

よしみんが書き初め(1月4日 議長室)



吉見町成人式

平成28年1月10日(日)、フレサよしみ大ホールで開催。



表紙の写真によせて

国指定史跡、松山城跡での初日の出。それぞれの願いを持って朝日を迎える。今年も良い年でありますように。(殿様も見たのかな。)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

今年は早くも梅の開花の便りも聞かれ、桜の花の季節を思わせるような暖かい新年を迎えました。スキー場では深刻な雪不足、大根や白菜などの冬野菜の生育が前進化、産地を困らせております。異常気象への備えを忘れずにしたいものです。

新しい年を迎え編集委員会では、心を一つにして議会の様子を分かりやすく伝えていける紙面づくりに努めてまいります。皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。(荻野)



議会だより編集特別委員会

委員長	秋山 真美
副委員長	杉田 しのぶ
委員	荻野 勇
委員	尾崎 豊
委員	戸谷 照喜
相談役(議長)	安孫子 和子